



Famio News

組合会報 26号 発行日平成 21年 10月 30日

福島県鉄工機械工業協同組合
広報委員会

福島県鉄工機械工業協同組合
理事長 藤橋進一郎

秋冷の候、組合の皆様におかれましても、厳しい状況の中で頑張っておられることと存じます。昨年来の世界同時不況から、一向に明りの見えない中小零細製造業の現状に打つ手なしの状況が続いております。

民主党に政権が代わり厳しい財源の中、マニフェストに沿った各省庁の行財政改革を推し進めておりますが、まだまだ厳しさを増す様相ではないでしょうか！

亀井静香金融相が主張しております中小企業向け融資や個人向け住宅ローンなどの返済を猶予するモラトリアム法案が何処まで中小企業を救えるかは賛否両論がある様で実質的には、内需拡大方向に行ける様に政府の戦略的な方向性を打ち出さない限り難しい問題であり雇用の創出も生まれて来ない様な気が致します。

何れにせよ、これからの日本はアジア圏を軸とした経済の発展を考えて行くべきで輸出産業の新たな展開が必要であろうと考えます。

鉄工組合共同受注事業の現況ですが、今年度に入り県外からの受注激減で厳しさを増しております。福島製作所からの受注増に支えられて何とか凌いで来ましたが、ここに来て減少傾向にあり、組合員の方々にも行き届いた仕事量を確保できない状況に申し訳なく思っております。

先般、経営研究委員会による工場見学会を行い郡山の工業団地に在ります東成エレクトロビーム(株)を見学して参りました。最先端真空溶接の現場を見せて頂き、それらの設備と技術に感銘を受けて参りました。

また、この程、東京の全中ビル(全国中小企業団体中央会)で全国委員会が開催され全国都道府県から一人ずつ集まり地方の実態を話し合っ参りました。

最終的には、政府のどの様な今の施策より実体経済が良くならなければ急場凌ぎのものであつて、国家戦略の下で新たな産業への取り組みが必至であると考えます。

当面どの様に日本の経済環境が変化してゆくのか不透明ではありますが、現状をしっかりと認識し、中小企業の存続を掛け生き延びて行かなければなりませんので、組合員の方々のお力添えを得ながら関係機関に実態状況を訴えて参りたいと考えております。

どうか、この難局を乗り切る為にも情報を密にして協力体制の強化にあたりたいと考えておりますので、ご支援のほど宜しくお願い致します。

平成22年度県予算編成に対する要望聴取会（福島県鉄工機械協同組合連合会）

平成21年9月17日(木)AM 11:15から県本庁舎第2特別委員会室において開かれ、連合会会長である藤橋理事長・専務理事である渋谷副理事長・監事である伊藤副理事長お三方が出席され県議会議員の先生方に次の要望を提出し、当業界の現況を含め苦境を訴えて来ました。

1. 県内地元中小企業への支援強化及び地域産業活性化対策についての要望

- ・雇用の安定と産業構造変化に対応できる人材育成について
- ・労働意欲のある高齢技術者に対する会社の受け入れと支援策について
- ・企業誘致においては先端産業に特化しない取り組みについて
- ・地場中小零細企業に対しての支援策について
- ・産業界に対しての技術支援の強化について
- ・コラッセの機能の充実について

2. 「モノづくり歴史館」の建設を検討して頂きたい。

以上2件を要望致しました。

後日10月6日、9月県議会定例会一般質問で吉田栄光議員が中小企業への支援について、「中小企業への支援を効果的に行うためには、福島県経営支援プラザと関係商工団体との連携強化が重要と思うが県の考えを尋ねたい」と質問し、「福島県経営支援プラザと関係商工団体との連携強化については、県内中小企業の総合窓口として設置した福島県経営支援プラザにおいて迅速な中小企業支援ができるよう相談業務や各種会議等を通じ関係商工団体と連携を図っているところである。今後共コラッセふくしまに關係商工団体が集約されている利点を生かしワンストップでより効果的な中小企業支援が行えるよう情報や支援ノウハウの共有化・蓄積を図るなど関係商工団体との更なる連携強化について努めて参りたいと考えておる。」との答弁を県商工労働部長から頂いた旨の報告があり、要望聴取会で述べた一項目が県議会に取り上げられ、成果を実感することが出来たことをご報告させていただきます。

工場見学会

東成エレクトロビーム(株) 郡山テクニカルセンター <http://www.tosei.co.jp/>

◆経営研究委員会

9月17日に15名で工場見学に行ってきました。

地域密着型の営業で生産体制を確立し、電子ビーム溶接・レーザー加工への対応力強化、新事業の研究開発を推進している物づくり企業です。

電子ビーム加工は、真空中に電子を飛ばし高温で金属を溶接する技術で、狭い範囲に高エネルギーを集中させ、溶解温度の高いレアメタルも溶接できるとのことです。また、熱伝導率の異なる銅とステンレス鋼の溶接など、材質の異なる組み合わせの溶接や、アルミ合金鋼の溶接にも対応可能。溶接能力は、参考値SUS304の溶け込み深さは100mmと、溶接のひずみが少なくて済むという特色があります。以上の事から航空宇宙・医療機器・原発の部品など要望の厳しい製品の溶接に最適のようでした。



組合員紹介

◆有限会社 福島研磨材商会

◇創立年月 昭和29年7月

◇経営理念

- ・努力・感謝・適正利潤
- ・何事も結果は全て自分の努力の現れである。
- ・良ければ回りに感謝し、悪ければ自らを反省する。
- ・商品の付加価値を売り、結果として適正な利潤を得て1円でも利益を出す。

◇特色

経験豊かなスタッフと優秀なメーカー等との連携により技術サポート・流通等において顧客ニーズに応え、物造りの現場に貢献しています。

◇趣味

オーディオ機器、アマチュア無線



◆有限会社 丹治製作所

◇創立年月 昭和49年3月

◇経営理念

明るく元気に何事にもチャレンジ精神を持って取り組むこと

◇特色

NC旋盤加工、普通旋盤加工、フライス加工、ラジアルボール盤加工をしています。数は少ないですが、いろいろな仕事に臨機応変に対応し、高品質、短納品を目指してベストを尽くしています。

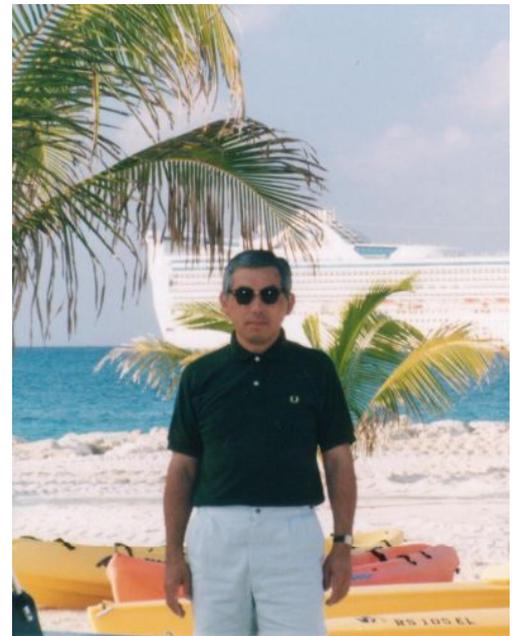
◇趣味

スポーツ観戦（野球・サッカー・相撲等）・体力づくり（日課として腕立て伏せ、腹筋）・バイク・キャンプ。休日は小学生の子供達と公園で走り回ったりキャッチボールをしています。

◇社長さんからの一言

加入させていただくことになりありがとうございます。今後、色々な面で視野を広げていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

代表取締役 渡邊三雄氏



代表取締役 丹治 隆之氏



◆組合行事

<u>日 時</u>	<u>内 容</u>	<u>場 所</u>
10月1日	全国中央会 委員会	東京 全中会議室
10月2日	第56回福島県溶接技術協議会表彰式	福島グリーンパレス
"	労働保険加入促進研修会	福島ビックパレット
10月19日	労働保険研修会	市民会館
10月21日	経営事項審査	県庁 東分庁舎
10月27日	第4回理事会	組合会議室
10月29日	緊急雇用調整助成金申請	ハローワーク
11月11日	組合トップセミナー	福島ビューホテル
11月12日	雇用保険制度説明会	福島ビューホテル
11月19日	中小企業団体全国大会	幕張メッセ

◆青年部会 活動報告

<u>日 時</u>	<u>内 容</u>	<u>場 所</u>
7月26日	夏季親睦会	荒川桜つつみ河川公園
8月28日	定例会	組合2F会議室
9月25日	会員事業所見学会	半沢木型製作所
10月9日	役員会	組合2F会議室

予定事業

<u>日 時</u>	<u>内 容</u>	<u>場 所</u>
11月5日	定例会	組合2F会議室
11月13～14	工作機械メーカー見学会	森精機製作所

◎青年部会では随時会員を募集しております。

48歳未満の後継者の方は、是非とも入会をご検討ください。
入会希望の方は組合事務局へお気軽にお問い合わせください。

福島県鉄工機械工業協同組合 URL <http://www.tekkou.or.jp> Email mail@tekkou.or.jp
〒960-8057 福島市笹木野字南中谷地21-4 TEL 024-558-8011 FAX 024-558-8013